

資料 1

職員研修「保護者支援セミナー」関係資料

資料①

職員研修「保護者支援セミナー」実施案

1 セミナー開設の理由

知的障害養護学校では、学校と家庭の連携を行うために個別面談や保護者会など様々なことが行われている。そこでは、教師が保護者の話を十分に聴き、保護者の気持ちを受け止めた上で、分かりやすい支援を行うことが重要である。そうすることで保護者の気持ちは安定し、児童の安心感・安全感を高めることにつながっていく。

そこで、教師に対し思いを語り合う場を提供し、参加型の演習を行いながら、保護者支援について学び合うセミナーを企画した。

- ・ 教師が保護者に対する思いを語り、保護者との関係について振り返る。
- ・ 保護者の気持ちを共感的な態度で理解するための演習を行う。
- ・ 教師の思いを保護者に伝え、実行してもらえるような言葉かけについて考える。

3 方針

- ・ 参加者が自分の気持ちを言葉に出しやすいような雰囲気作りに努める。
- ・ 参加者の話に耳を傾け、受容する。
- ・ 保護者支援の基本となる表現方法について学習する。
- ・ 参加者がより保護者の気持ちを理解できるように体験型学習を取り入れる。
- ・ 教師からアンケートを取り、多くの教師が遭遇している問題点に視点をあて、ワークを行う。

4 展開 (120分)

過程	活動内容	時間	配慮事項
導 入	1 挨拶 2 本セミナーの概要について聞く。 3 アイスブレイキング ・ 2人組を作り、1人が肩をもみながらもまれている人に、今気になっていることについて話をする。 (2分ずつ)	10分	・ 挨拶を行う。 ・ 教師の日々の活動の大変さを認め、労をねぎらう。 ・ 教師の保護者に対する思いを語り合うことや守秘義務について説明する。 ・ 保護者の気持ちをどう捉え、接し方をどう工夫すると、保護者へのよりよい支援になるのか、みんなで考え話し合っていくことを伝える。 ・ 肩のもみ方については位置、強さ、方法についてもまれる人が注文をつけて良いことを伝える。
展	4 自分も相手も大切にしている表現について学習する。 5 2人組になり、保護者とのかわり合いの中で感じたことについて語り合う。	25分	・ いろいろな保護者への感じ方を振り返り、自分自身の傾向を知るようにする。 ・ 話の聞き方の基本的な考えや技術について演習を取り入れながら伝える。 ・ 2人組になる時、付き合いの浅い人と組むように伝える。 ・ 話したくない場合は話さなくてもよいことを

開	<ul style="list-style-type: none"> ・うれしかったこと ・悲しかったこと ・迷っていること <p>6 振り返りカードに語り合っ て感じたことを書き、2～3人 が発表する。</p>	25分	<p>伝える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・聞き手は話し手の話にあいづちを打ち、どんな話でも受け入れながら聴くように伝える。 ・全員の前で話したいことがある人がいたら発表してもらおう。 ・感想は思ったことを短い文で書くように伝える。 ・机間支援を行い、書かれた感想を把握し、必要に応じて発表者を指名する。
	<p>7 教師と保護者との面談場面などのロールプレイを見る。</p> <p>8 自分の体験を基にロールプレイを見て感想を全体で話し合う。</p> <p>9 保護者にかける言葉を考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保護者にどのような場面でどのような言葉かけをすると良いか考え、ワークシートに記入する。 ・4人組になり、それぞれがワークシートに書いた内容を基に続きを演技し合い、感想を話し合う。 目安（1回2分×2回） ・代表者がグループの話し合いの様子を全体に紹介する。 ・どんな言葉かけをすると保護者は子どものために行動を起こそうとするのか確認する。 	40分	<ul style="list-style-type: none"> ・演技者には事前に依頼しておく。 ・ロールプレイの内容は教師に対するアンケート結果を基に考える。 ・教師の感じた思いを率直に話すように伝える。 ・保護者の立ち場になった場合の感想も聞くようにする。 ・「保護者が子どものために行動を起こそうとする」ためにはどのような場面で、どのような言葉かけをしたらよいか考えるよう伝える。 ・演技は教師・保護者・観察者1、2を決め、せりふを考えた人が保護者になるように配役を決める。 ・代表者を選ぶ時間をあらかじめ伝える。 ・保護者の子どものための行動を喚起する言葉かけの条件を短い文で整理する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・保護者の大変さや気持ちを受け止める ・子どもの可能性について前向きに伝える ・保護者のできる範囲のことを、具体的に提案する ・教師と保護者は共に子どもの成長を願っている同志であることを認識する </div>
ま	<p>10 本セミナーの振り返りを行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・振り返りカードに本セミナーについて感じたこと・気づいたことを記入し、1～2人が発表する。 	20分	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の体験を基に本セミナーについて振り返り、自分の感じたことや気づいたことを書くように伝える。 ・机間支援を行い、書かれた感想を把握し、必要に応じて発表者を指名する。
と	<p>11 まとめの話を聞く。</p>	分	<ul style="list-style-type: none"> ・本セミナーを通して学んだことをまとめ確

め	9 挨拶	<p>認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・保護者支援について、疑問や悩みを抱いた時、安心してその思いを語り、客観的に助言してくれる仲間をもつことが大切 ・保護者と教師が連携し、子どもの成長のために行動を起こそうとするためには保護者の気持を受け止め、同じ願いをもつ同志として、前向きに具体的な提案を行うことが大切 </div> <p>・感謝の気持ちを込めて挨拶をする。</p>
---	------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

資料② 【ロールプレイ場面】

《場面1》

* 1学期末、教室で教師と保護者が個別の指導計画の面談を行っている。

教師：「お母さん、花子さんは7月に入り、時間をかければ重点目標のボタンかけができるようになってきたんですよ。」

母親：「そうですか。」（嬉しそうな顔をする。）

教師：「花子さんは周りの大人がゆったりとした気持で接すると、できることが確実に増えていくようです。」

母親：「ありがとうございます。」

教師：「ところで、家ではボタンをかける時どうしているのですか。」

母親：「私がやっています。」

教師：「学校だけでは、ボタンをかける機会が少ないので、家でもなるべく花子さん自身がボタンをかけるようにしてみてください。そして、できるまで温かく見守ってあげてください。よろしくお願いします。」

母親：「はい分かりました。夏休みは良い機会なので、そのようにしてみます。」

《場面2》

* 夏休みが終わり、給食も始まった。花子は給食着になる時にボタンができず困っている。

教師は花子の話から、夏休み中ほとんど母親がボタンをかけてくれていたことを知った。

この事実を知った教師は、保護者にどのような言葉で働きかけるか

ワークシート

小学部 中学部 高等部

男 女

- 1 保護者とのかかわりについて感じていることを、他の人に話して感じたことはどんなことですか。簡単に感想を書いてください。

- 2 ロールプレイを見て、あなたなら自分の思いを①どのような場面で、②どのような言葉で伝えますか。よく考えて書いてください。

(1) どのような場面で伝えるのが教師の思いが伝わりやすいでしょうか。

(2) どのような言葉かけをしたら、保護者は家庭で子どもにボタンをかけさせてみようと思うでしょうか。考えた言葉を書いてみましょう。



★今日のセミナーをふいかえて・・・★

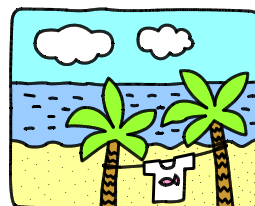
今日のテーマは「上手な保護者への言葉かけ」でした。

名前 _____

【当てはまるもの1つに○をつけて下さい】

1. 今日のセミナーに参加してよかったですか。

1. とてもよかった
2. まあまあよかった
3. あまりよくなかった
4. よくなかった



2. 今日のセミナーで学んだことを、保護者と接する時に生かしていきたいと思いますか。

1. 思う
2. 少し思う
3. あまり思わない
4. 思わない

3. 今日のセミナーで学んだことは、保護者と接する時に実際にできると思いますか。

1. 思う
2. 少し思う
3. あまり思わない
4. 思わない



4. 今日のセミナーで感じたことや考えたことなど、どんなことでも結構ですのでお書き下さい。